

常馨文藝

桃色の夢 (歌)

カフエーNの緋紗子へ
吾 郎

桃色の眠りも静か見る夢も
静かならましこの春の宵。

春の宵眠り静けく風そよぎ
桃色の夢さめて戀しく。

月の輪の大きいなるかも立ち
いでて更くるを知らでなが
めいりしが。

暫くは見はこぬ夢のあとを
追ひ現なき身の朝明けはう

はにかめる汝のみほほにさ
す灯かけぬすみ見ながら獨
り淋しも。

つゝましく寄り添ふ汝の愛
しさに戦く胸をひた沈めゆ

相寄れば奇しき心の戦きに
手はとりたれど寂しきもの

語る可き言の葉しばしつぎ
たれば月草亂る小徑歩めり
小田路を足あふなげに小走
りて吾は近づけはしけやき
汝。

若き日を汝に捧げこみすか
らを微笑みて呼ぶ因はれの
身と。

汝とわが涙たたへし瑠璃色
の甕に挿さばや白百合の花

桃色のコップのふちに汝が
唇ふれしあたりを求めける
かな。

濃香のシガリの香り部屋に
みち汝ほほえみつかうチン
のかげ。

三四、三五、

流水錦
琵琶教授

水部

會本

平手錦鞭

平手町六十五番地

工務處 方調劑
薬業 薬品

渡邊藥局

平町三丁目

渡邊政五郎 (郵便局向)

内科。外科。婦人科
デアテルミー光線科
花柳病科。胃腸病科

松村病院
平町南町電話一〇七番

内科。外科。耳鼻
咽喉科。花柳病科

高久病院
平町町(電話五二三番)

内科。外科。花柳病科
耳鼻咽喉科。婦人科

赤心堂病院
平町町(電話四七五番)

柔道整復術治療

目科 (ウチミキ)
一 (ホネツギ)

柔道教授

教授 午後六時より十時迄
時間 午後六時より十時迄
松ヶ岡公園下
桑原接骨院
(呼出)電話三三〇番

御設備下さい

文化生活の強敵なる
恐るべき蠅の撲滅の爲に

驚くべき一匹のハイは、百參拾萬の
細菌を保有して居るそうです

蚊とり兼用器

特許のハイトリツク

特價 金四圓五拾錢

平町五丁目(電話九番、二三九番)

和洋銅鐵
金物問屋
久釜屋商店

楽しい團樂に

食後のコーヒ

コーヒは松本屋の品に限る
粉末コーヒ 金四十錢
四半ポンド一罐入

(御便利な)コーヒ 三十五錢
一入角砂糖百匁

平町四丁目
ヤトモツマ
シモ 仙替 振
一 二 三 四 一 二 三 四

牛肉と葡萄酒

米國スニット會社一號
コンビーフ牛肉 正味九十
夕入一罐 金四十錢

甲斐産商店勝沼工場製
大黒葡萄酒 正味 金一圓七十錢
洋酒雜詰食料品商

西村屋藥舖
平町二丁目
電話三番

釀造元 石城郡平窪村

酒 鶴仙 松吉屋本店
電話二四一番

大蒲焼 鰻井

多少に不拘御用仰付願上候

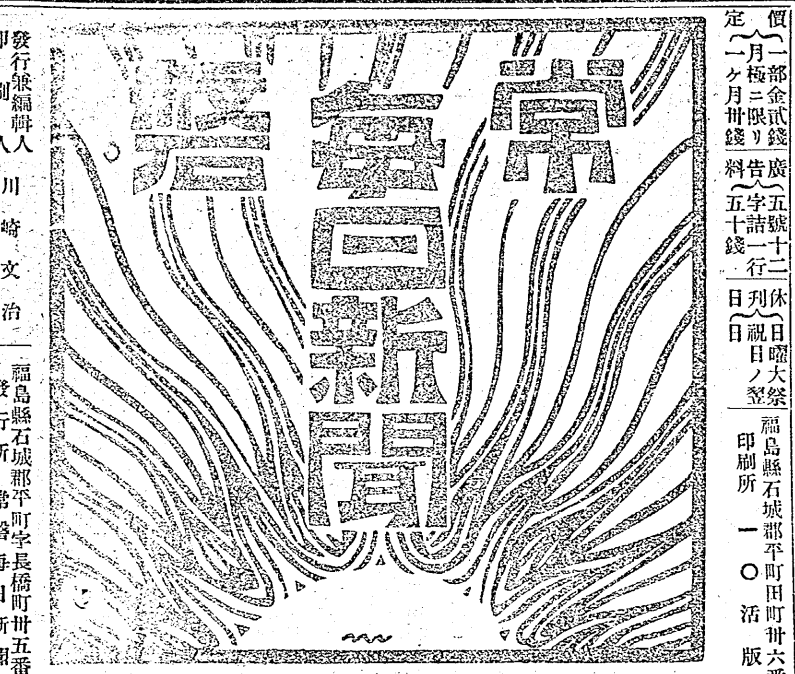
割烹 大和家
平南町(電話十四番)

株賣買中値

左記の値段は本日の標準値
に付御用の節は御問合願候

Table with columns for bank names (e.g., 磐城銀行, 平銀行, 警越銀行) and their respective exchange rates (e.g., 五〇〇, 五〇〇, 五〇〇).

東新株 先限
前場後場共入電致居候
平町町 電話三三二番
丸登株式店
川添房二郎



刊夕日十二月六

發展を妬む觀念
排日案の由来する處は極め
て遠しと云はねばならぬ日
清日露兩役後我國威が遠に
發揚せられると同時に我移
民は北米に於ても年々成績
を挙げ被國労働者の反感を
買ふに至つたことは争はれ
ない事實であると思ふ然し
乍ら百尺竿頭一步を進めて
考ふるならば之れは畢竟日
本人の發展を妬む觀念が總
ての排日的行動の泉源をな
して居るものと相像する思
ふに我が日本に彼等米人並
にその他の國人の夢想する
が如き世界を統一すべき野
望が存するか何うかと云へ
ば決してそんな事は毫頭も
ないことを斷言して憚らな
い然し乍ら我帝國は神代の
太古から今日に至るまで我
大和民族位他人種を包容す
る度量の弘きものはない米
國の如きは亞米利加印度人の
包容力さへ大ならずして常
に土人を虐待して居り今次
は又日本人の入國を絕對禁
止しなければならぬやうに
なつたのも之れを一言にし
て蔽へば異人種の排斥に外
ならない之れに反して我大
和民族は建國の昔から常に
異人種を同化し包容した事
實は歴史土特筆大書すべき
事柄であると思ふそれから
茲に言及せざるを得ざるこ
とは宗教の入國に際し各國

所期目的の貫徹に 飽迄努力せんと言

今日の許可反対同盟會 會衆の意氣昂然

既報大瀧發電所許可反対同盟會は本日午後二時から聚樂館に於て開會、大原長太郎氏の開會の辭に次いで植頭鶴松氏座長席に着き會則制定の件を諮つて異議なく可決し役員選舉の結果左の如く決定

本紙投稿家の 小集を催す

奮つて御出席を... 未だ一回の面識もなく紙面でのみ其名を憶がしむ本紙投稿家が親しく一堂に會して高談放語するの機会をつくりました、文藝欄寄書欄に不平受付欄其他の投稿家は是非奮つて御出席を願ひます會合の要領を左の如く定めました

投稿家小集の要領

- △時日 来る廿一日(土曜日)午後七時から
- △會場 平銀行樓上
- △會費 卅錢
- △注意 出席者は前日迄に平町長橋町警署毎日新聞社宛に申込まれ度し

選舉違反 辯護士は五人

吾人平町三萬の町民は大正十三年六月五日開會せる町民大會に於ける大瀧發電所許可反対に關する決議文に基き大平町百年の大計を樹立して永遠に子孫安住の地たらしめんが爲め所期目的の貫徹に向つて努力せん事を期す右宣言す

三阪村制改正

石城郡澤渡三阪組合村にては現在の規約は現町村制の規約に副はざる点多々あるを以て今回組合規約の改正認可申請を縣に提出せり

無電通信

鯉漁況は益々好況に向つて居るが昨日江名漁船七艘が銚子及び湊沖合にて鯉四千三百五十尾、マグロ六百五十尾(金額約七千六百五十八圓)を漁獲し又小名濱漁船二艘は同港南東百哩の海區にて鯉二千五百二十尾(金額二千百圓)を釣獲したが水産試験場所有船警城丸から左の如き無電通信あつた

入山採炭増配

来る廿五日の總會に當期決算配當年一割案を附議する、前期に比し二分増配

温泉復活

石城郡湯本町自治復陽會にては温泉復活に關し内郷村警城炭礦と交渉を重ね同村大村經三炭礦東礦道から流出する熱湯を八時の鐵管で引用することとなり警城炭礦に於ても掘阪地内鐵

還曆句募集

平町一丁目平川柳吟社にては同社同人片寄文狂氏の還曆記念句募集中だが題は『文』或は『狂』締切は七月十日であつて大島濤明、飯沼鬼一郎兩氏が選をする

新患者續出

石城郡警崎村藤原炭礦坑夫山へ! 體質を考へて 夏休みを前に迷ふ親達へ

磐城病院長の注意談

山に行かうか、海に行かうか、近づいて来た夏休みを前にして迷つてゐる人もあらう、之に就て磐城病院院長市原卯太郎氏は語る『先づ海に行く人で

水泳の

出来る體質は、呼吸病のない人、胃腸の弱くない人換言すると健康體の人である水泳は可なり過激な運動で體質の弱い者には堪へられない、健全な人でも初めて水に入る時は十分位を

カテイラン

煎茶の進め方

茶托にのせて煎茶を出します時は、片手で茶托のふちを持ち茶わんの模様を表を客の方に向けて進みます、そして客の前三尺位のところ膝をつき、そのまゝ、少し前ににじり出て、右手で茶托の右ふちを持ち客の右

長屋に天然痘新患者發生したるは昨記の如くであるが患者は在記十名であつて直ちに隔離舎に收容し附近の交通遮断を行へ徹底的に消毒中である

不平受付

湯野神社も被害 昨夜平町八幡小路縣社八幡神社拜殿の鍵をニジ切り賽銭を掻きさらつて逃走した賊あるが同神社より數町離れた道匠小路湯野神社の扉も破られてある處から同一人の處爲らしく平署は犯人捜査中である

不平受付

泥土の運搬 平町本町裏通りの溝上げ泥土は未だ運搬しないやうですが衛生から申しまして甚だ迷惑を感じます(迷惑生)

伏見助役の答

愛谷江筋組合で是れを上げ仕末は町で引請ける事になつて居るのですが請負者の都合で延びて居たのです明日から早速仕末をつける事にします

小川組合許可

石城郡小川村草野正義氏外百廿七名發起の有限責任小川信用組合は十八日附許可されたが出資口數二千口總出資額六萬圓である

鈴木博士休診

平町警城病院顧問鈴木博士は二十二日事故休診廿九日來診の筈である

平町人事

- △出生 神山傳治長男勝治
- △婚姻 玉井村忠兵衛氏(二七)下川原永山トモ(二二)
- △死亡 馬場フク(七)

平驛の 繭取扱ひ高

一日卅車位 平驛では去る十三日から出廻りの春繭を取扱つてゐるが昨今が出盛り期で一日三十車位あると十八日までの取扱ひ高は石敷にすると三千九百七十六石で郡山福島が主たる出向地である

福島炭礦夜學

石城郡赤井村福島炭礦では労働者の兒童中義務教育を受けたいものを教養すべく同炭礦五名の中學卒業生を教師に囑託して夜學を開始する事となつた

對米問題講演

廿二日夜開會 既報平町教育會青年團在郷軍人分會聯合主催の對米問題講演會は廿二日午後七時より郡議事堂にて開會の事に決定した